

日本赤十字社沖縄県支部 防災教育プログラム  
『まもるいのち ひろめるぼうさい』を学んだよ！  
～After-school FIGO Onna 編(仲泊小内学童)～

7月21日、After-school FIGO Onna で「自然災害の正しい知識」「自ら考え、危険から身を守る行動」「調理用ビニール袋での炊飯体験」を楽しみながら学びました。

また、恩納村役場から防災用保存食の試食品(パン)の提供もありました。

【参加者】児童60人・スタッフ等10人 合計70人

【子どもたちの感想 一部抜粋・編集】

- タイヤのついている机を部屋の中には置かないことで、助かる確率が高くなるので、自分で工夫してみたい。
- 大事な水を使ってご飯が作れた。これを参考にして手伝いたいと思った。
- 津波が来た時に理解して動けるように、必要な物はちゃんと用意しておきたい。
- 棚やクローゼットの上に、あまり物を置かないようにしようと思った。
- 地震が来た後は津波が来るので、いそいで高い所に逃げようと思った。
- 炊飯器じゃなくても米は炊けるんだなと思った。
- 今回の行動を活かして、家族と防災について考えたいです。



お仕事の楽しさや「ありがとう」と言われる喜びを体感！

恩納村社会福祉協議会では、村内商業施設等においておしごと体験を行い、それぞれの立場で「気づき」や「学び」を体験できる機会をつくることを目的に「夏休みチャレンジキッズおしごと体験」を開催しました。

7月31日と8月14日に、NPO法人大夢【児童デイサービスぷちたいむ、ぷちたいむ deux おんな】を利用している村内の児童・生徒が参加し、恩納区のお弁当屋ささやかキッチンさんのご協力を得て実施されました。

子どもたちは、接客対応や弁当のラベル貼り、品だし、レジ係、サンドイッチづくり、サーターアンダギーづくりなど元気に楽しくチャレンジしました。体験終了時には修了証も授与されました。地域とのつながりの大切さ、子どもたちの頑張る姿に大人たちがみんな笑顔になりました。

